

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年は、例年以上の猛暑となり、残暑も厳しいものになっています。会員の皆様には日頃より本会に多大なるご支援、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、6月23日（金）に千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会並びに定期総会を、白子町立白子中学校にて開催することができました。今回は4年ぶりの参集形式での開催となりました。多くの来賓の方々や各支部の先生方のご臨席のもと、研究大会・定期総会を執り行うことができました。長生支部の結束力が遺憾なく発揮された、研究大会・定期総会となりました。



榊原会長の挨拶

定期総会から

定期総会では、前年度活動報告、決算・会計監査報告、今年度活動方針案、予算案に関する件、役員選出などの報告議事が進められ、大会宣言により締めくくられました。今年度の感謝状贈呈者は下記の方です。

(順不同・敬称略)

山武	市原 喜郎	東葛飾	近藤 昌彦	千葉	迎 寿美	千葉	田村 真理
千葉	伊藤 芳仁	千葉	小島明里子	千葉	鶴岡 寛樹	千葉	鹿志村博晴
千葉	安田 京巳	千葉	美濃 哲也	千葉	尾高 彰	市原	清水 善治
市原	上羽 康博	習志野	池上 吐夢	山武	野老 則子	長生	細田 稔
夷隅	大久保 巧						

また、全国大会や全国作品展に入賞する作品の指導をされた指導者に対し、優秀指導者表彰が贈られました。受賞された方は、以下の方々です。(順不同・敬称略)

矢内 美佳 (千葉市立加曽利中)	七戸 亮太 (船橋市立小室中)
土屋 久恵 (茂原市立富士見中)	中田 聡美 (睦沢町立睦沢中)



表彰の様子

公開授業から

公開授業では、長生支部研究主題「生活や社会の中から課題を見だし、自ら解決策を構想し実践する力を育成する学習指導の在り方 ～主体的・対話的で深い学びを通して～」のもと授業が展開されました。

技術分野、家庭分野ともに千葉県総合教育センター調査研究事業により開発された「OPPシート（振り返りシート）」を用いた授業が行われました。長生支部の研究発表の後、千葉県教育庁東上総教育事務所山武分室指導主事 時津 丈二様、千葉県教育庁教育振興部学習指導課指導主事 山本 美加様よりご指導、ご助言を頂きました。

技術分野＜授業者 古市 友哉 先生（白子町立白子中学校）＞

技術分野では、「安心・安全なメッセージ交換アプリにするには、どのように工夫・改善したらよいか」という学習課題で、情報セキュリティを意識しながら、アプリの工夫・改善についてグループで意見交換する授業が展開されました。生徒がOPPシートに記述することにより、主体的な学びを促し、学びによる変容を可視化できるよう配慮された活動が行われました。

家庭分野＜授業者 渡辺 奈緒子 先生（白子町立白子中学校）＞

家庭分野では、「むだのない衣生活を送るにはどうしたらよいらうか」という学習課題で、持続可能な衣生活についてOPPシートを活用した授業が展開されました。一人一台タブレット端末を活用し、すべての生徒の意見を取りあげ、協働化をはかる工夫が見られました。資源を無駄にせず、環境に配慮した衣生活について、生徒が真剣に考える様子がよく見られ、大変興味深い授業となりました。



技術分野（情報の技術）

家庭分野（衣食住の生活）

——作品展から——

今年の作品展は、各支部より優秀な作品を集め、定期総会会場に展示し開催することができました。どの作品も創意工夫を凝らし、素晴らしい作品でした。その中で以下の作品が第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア作品展に出展することになりました。



作品展の様子

教育長賞 【全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品展出品】

(技術分野)

「ミニ本立て」

君津市立上総小櫃中学校

前田 結希乃さん



(家庭分野)

「コーディネートを工夫できるワンピースと小物」

千葉市立稲毛中学校

泉 沙羅さん



振興会長賞 【全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品展出品】

技術	船橋市立八木ヶ谷中学校	石井 夕海さん	家庭	御宿町立御宿中学校	吉野 仁深さん
	佐倉市立臼井南中学校	天井 英佳さん		千葉市立稲毛中学校	マ々 葉葉さん

振興会長賞

技術	山武市立山武中学校	山田 紗葉さん	家庭	千葉市立稲浜中学校	高橋 仁奈さん
	成田市立下総みどり学園	齋田 楓華さん		柏市立柏中学校	春原 友恵さん
	君津市立君津中学校	真栄田 愛琉さん		千葉市立磯辺中学校	中西 あかりさん
	千葉市立更科中学校	坂本 美葉さん		千葉市立花見川中学校	塩見 和也さん
	白子町立白子中学校	相内 幸一郎さん		松戸市立第一中学校	久保 杏奈さん
	南房総市立三芳中学校	田嶋 隼乃介さん		いすみ市立岬中学校	小澤 詩歩さん
	松戸市立小金中学校	東郷さん、太田さん 小林さん、高橋さん		船橋市立船橋中学校	城之尾 明莉さん

——お知らせ——

(9/13ㄨ切)

☆ 関プロ群馬大会が11月2日(木)に行われます。来年度の千葉大会に向けて、

多くの先生方のご参加をお願いします。こちらのQRコードより申込できます。→→



☆ 第19回千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが11月11日(土)に千葉県総合教育センターで開催されます。4年ぶりにすべての部門が参集形式で行われます。協力員の先生方をはじめ、多くの先生方に参加いただき、フェアを盛り上げていきたいと思ひます。ご協力よろしくお祈ひします。

——編集後記——

多くの先生方のご協力により、部会だより令和5年度第1号を発行することができました。今年度は、部会の方のほとんどの行事を参集形式で行うことができるようになったため、部会だよりを2回発行する予定です。第2号では、千葉県中学生創造ものづくり教育フェア、作品展や研究大会などの様子をお知らせしたいと思ひます。

今年度、広報部は清水 俊也(広報部長・千葉市立都賀の台小学校)、大野 忠(広報部員・千葉市立松ヶ丘中学校)の2名で担当いたします。よろしくお祈ひします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会 広報部 千葉市立松ヶ丘中学校 大野 忠》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。今年度は、本部会のほとんどの行事を参集形式で実施することができました。今年度の活動についてお伝えしたいと思います。

—— 令和5年度の活動を振り返って ——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会 会長 榊原 英記

6月23日に令和5年度千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会並びに定期総会が白子町立白子中学校で開催され、多くの先生方のご協力、ご支援により、研究協議並びに総会が盛会裏に終了できましたことを心から御礼申し上げます。今年度は、当たり前前が当たり前でできなかったコロナ禍の生活から抜け出し、新しい実践を歩み始められたことを大変うれしく感じます。

本部会の研究主題にもありますように「生活や技術を工夫し創造する実践的な態度」を身に付けていくことが本教科の責務であると考えます。そのような成果を発表する場の一つとして、「千葉県中学生創造のものづくり教育フェア」があります。今年度は11月11日に「創造アイデアロボットコンテスト」、「めざせ！木工の技チャンピオン」「あなたのためのおべんとうコンクール」、「豊かな生活を創るアイデアバックコンクール」の4部門を4年ぶりに千葉県総合教育センターにおいて開催することができました。千葉県内各地から参加した生徒たちは、日ごろの学習の成果を十分に発揮することができたと感じています。また、12月3日には関東甲信越地区中学生創造ものづくりフェアが栃木県で開催され、本県からも「創造アイデアロボットコンテスト」や「豊かな生活を創るアイデアバックコンクール」にエントリーし、千葉県の代表として頑張り、「豊かな生活を創るアイデアバックコンクール」部においては、全国大会の出場権を勝ち取りました。

さて、中学校学習指導要領では、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他所と協働して課題を解決していくこと、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し、情報を再構築するなどして新しい価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることなどが求められています。各学校におかれましては、今回の改訂の趣旨を生かし、「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた実践的・体験的な学習活動の展開をすすめ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組をお願いいたします。

令和6年度には「関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会千葉大会」を授業公開については参集方式での開催を予定しています。開催支部の先生方を中心に、本部会員の皆様の横の繋がりを深めながら、本部会発展のためにご尽力をお願いし、すばらしい成果をあげることを期待いたします。

結びに、日頃からの本部会員皆様のご尽力感謝申し上げますとともに、今後の研究推進のために変わらぬご理解、ご協力をお願いします。

———— 千葉県中学生創造ものづくりフェアより ————

今年度は4年ぶりに千葉県総合教育センターを会場として、参集形式での開催となりました。各部門の大賞・第1位入賞作品を紹介します。

分野	部門・順位	学校名	生徒名・チーム名
技術	木工チャレンジコンテスト第1位	船橋市立御滝中学校	柳澤 光南さん
	ロボコン応用・発展部門第1位	習志野市立第一中学校	“疾風～TAMAIRE～”
	ロボコン基礎部門第1位	松戸市立小金中学校	“イモはんだ”
	ロボコン大賞 ロボコン計測・制御部門第1位	松戸市立小金中学校	“ソースかすてら饅頭”
家庭	アイデアバッグ第1位	松戸市立第一中学校	徳田 祥子さん
	おべんとうコンクール第1位	千葉市立泉谷中学校	梅澤理央さん 菊地咲恵さん



———— 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェアより ————

令和6年1月20日（土）・21日（日）、東京都内各会場にて開催され、千葉県より3名の生徒作品が受賞となりましたので紹介します。

<木工チャレンジコンテスト>

優秀賞	船橋市立御滝中学校	柳澤 光南さん
-----	-----------	---------

<豊かな生活を創るアイデアバッグ>

厚生労働大臣賞	松戸市立第一中学校	徳田 祥子さん
父へ贈る、オリジナル2way バッグ ～アップサイクル&リメイクで新たないのちを吹き込む～		

<生徒作品コンクール>

特許庁長官賞	御宿町立御宿中学校	吉野 仁深さん
防 災 バ ッ グ		

———— 千葉県木工工作作品展より ————

令和6年2月17日（土）・18日（日）、千葉市中央区にある「きぼ～る(Qiball)」にて開催され、各支部の優秀作品を展示することができました。作品展の様子を紹介します。



———— 編集後記 ————

今年度は、定期総会やものづくりフェアなどが参集形式で行われ、盛況となりました。いよいよ来年度は関ブロ千葉大会となります。開催に向けて皆様のご協力をよろしくお願いします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会 広報部 千葉市立松ヶ丘中学校 大野 忠》